



心に太陽を!



大分県でも新型コロナウイルスで陽性になられた方が増えてきています。

皆が不安を抱える中でも、社会を支えている方々の存在があります。

情報は大切ですが、偏った情報や、根拠のない情報を鵜呑みにしていませんか？

陽性でも無症状の方がいるということは、いつ誰がなってもおかしくない状況かもしれません。

感染したい人は誰もいません。

デマや誹謗中傷は当事者を二重に傷つけることとなります。そんな時こそ思いやりと優しさを忘れずに心がけたいものです。

見えないウイルスに心まで蝕まれることなく、予防を怠ることなく、健やかな心で日常を過ごせるように

いつも心に太陽を



それぞれの思いを胸に見た花火

8月16日(日)20時に丹生の夜空を美しい花火が彩りました。

『おうちで花火』～コロナに負けずに頑張ろう～と銘打って実施された花火大会。

6分弱と短い時間ではありましたが、楽しんでいただけたでしょうか。

校区上半期の最大イベントである納涼夏祭りをはじめ、さまざまな行事を自粛せざるを得ない中、せめて花火だけでも、という声を受けての花火大会。

翌日には公民館にも感想の声が届きましたが、場所によっては見づらいところもあったようで申し訳ありませんでした。

今はただ、一日も早いコロナ禍の終息を願うばかりです。



自主サークル紹介

只今会員募集中です

囲碁クラブ 日曜会

公民館の自主サークル活動に、毎週日曜日の午後から活動している『日曜会』という囲碁クラブがあります。

将棋と同様、静かに碁盤と向き合う囲碁は、右脳を使い発想が豊かになる頭脳ゲーム。脳トレや認知症予防にも役立つともいわれています。

日曜会では、体調チェック・マスク着用、換気・消毒を徹底しております。

経験の有無は問いません。初心者の方にも丁寧に指導します。

興味のある方はぜひ見学に来てください。只今会員募集中です。

お問い合わせは・阿部寛治さん(593-1451)まで



丹生校区青少協から校区の皆様へ

子どもと丹生校区青少協 第1回情報交換会を開催

さる7月31日(金)19時半より、丹生校区公民館 集会室にて丹生校区青少年健全育成協議会(以下、丹生校区青少協)主催の今年度初めての情報交換会が行われました。

丹生校区青少協の情報交換会は年3回小中学生が長期休暇に入る前に行われます。

青少協専門部、学校、PTA、地域で情報交換をして、子どもたちが安全に楽しく休みを過ごせるよう連携して取り組むのが目的です。

今回は丹生小学校からは酒井美恵校長以下3名、地域からは自治委員9名全員、主任児童委員、民生児童委員から各1名、青少協専門部長4名と会長、会計、事務局が参加して計23名で活発な情報交換が行われました。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、学校、PTA、地域の全てで行事の中止が相次いでいることが伝えられました。

丹生小からは「自分の命は自分でしっかり守れる子に育てる」という方針で児童に衛生指導や交通指導をしていることや通学路の危険個所については学校から市(児童生徒支援室)へ改善要望を上げるので気づいた点があれば連絡してほしいとのことでした。

自治委員の皆さんからは、害獣への注意や通学路での見守り活動や危険個所等について多くの情報や意見が寄せられ、子どもたちが地域から温かく見守られていることがよくわかりました。

また、見守りをしていて「どこの子かわからない」という声や「地域の子も連絡所を子どもたちが知っているだろうか?」という声が複数ありました。

これを受けて平山洋一丹生校区青少協会長は「子どもと地域がふれあう場が必要。地域の方もPTAの方も親子そろって地域行事に参加していただきたい。

また、ふれあいの場をこれから青少協としても作っていきたい。」と話していました。

会の後、「いろいろな方から話が聞けて有益だった」との感想を多数いただきました。

これからも丹生校区青少協は地域の子どものための健全育成のために

学校・PTA・地域をつないでいきます。御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

